

【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8組。各県の個人戦の成績順位で、上位8組を選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本ソフトテニス競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（白）を使用する。男子はアカエムボール、女子はケンコーボールを使用する。

(3) ユニフォームは、上は襟付・半袖のスポーツシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スコート（ショートパンツ）を着用すること。

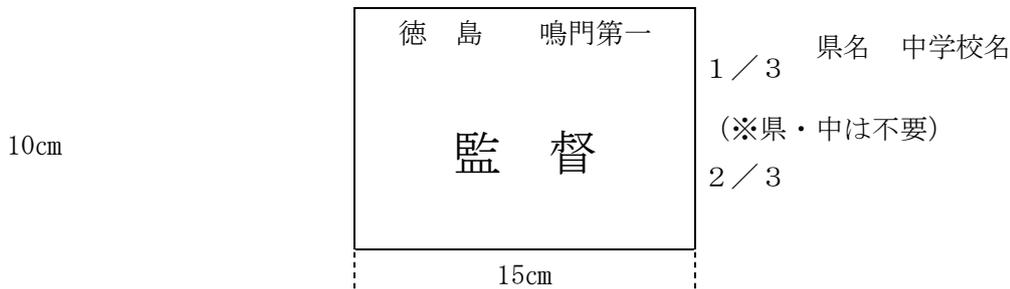
[注意] 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、上記の服装から出るアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) ソックスの長さについては、くるぶしより上でハイソックスは認めない。

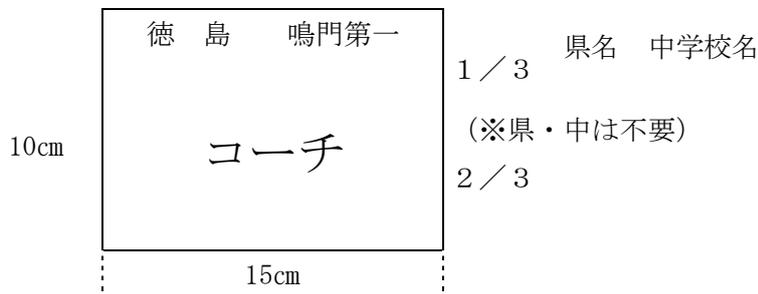
(6) 監督がベンチに入る時は、襟付のスポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中中のゼッケンは不要とする。

[監督のゼッケン]



(7) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

[外部指導者（コーチ）のゼッケン]



(8) 選手変更について

① 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

② 団体戦で、申し込み後、メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

(9) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

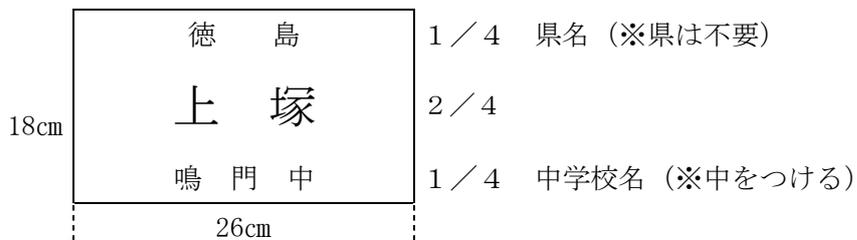
(10) 背中中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中中の中央につける。ただし、四隅を留めるものと

する。

① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都道府県名，姓，学校名を3段で記述する。また，県名の「県」の文字はつけず，中学校の「中」の文字はつけるものとする。

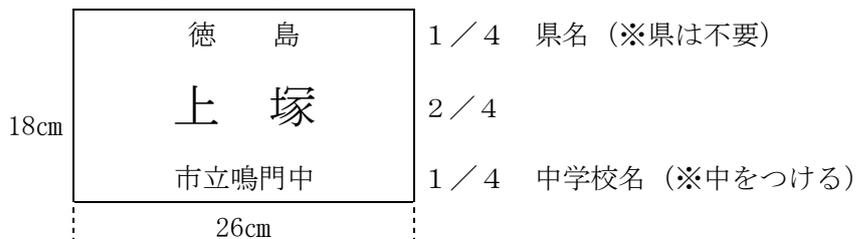
② ゼッケンの文字は「漢字」，「ひらがな」，「カタカナ」を使用し，文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。

《例1》徳島県 鳴門市 鳴門市立鳴門中学校 上塚 牧雄



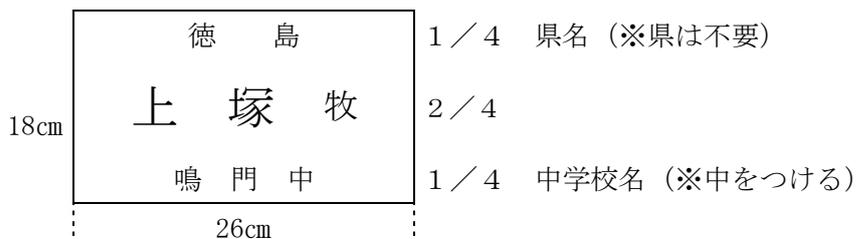
③ 県内で同名の中学校がある場合には，区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例2》徳島県 鳴門市 鳴門市立鳴門中学校 上塚 牧雄



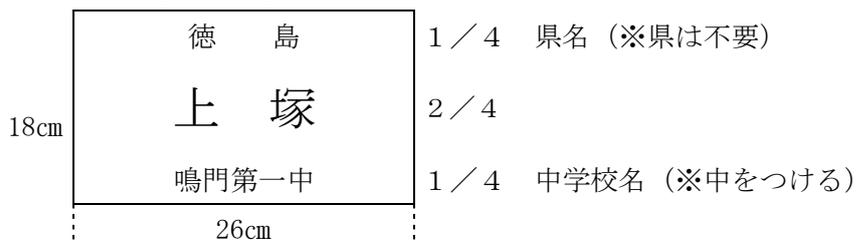
④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし，同一校に同姓の選手がいる場合には，名前の一文字を付け加える。

《例3》徳島県 鳴門市 鳴門市立鳴門中学校 上塚 牧雄



⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には，学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例4》徳島県 鳴門市 鳴門市立第一中学校 上塚 牧雄



※ 今年度から従来の2段ゼッケンの使用は認められません。また，3段ゼッケンの学校名に「中」が印字されていないゼッケンの使用も認められません。

3 競技方法

(1) 団体戦は各県から選抜された男女各8校（監督1名と選手6名で1チーム編成登録8名以内）

によるトーナメント方式の団体点取法。※必要最低選手数4名

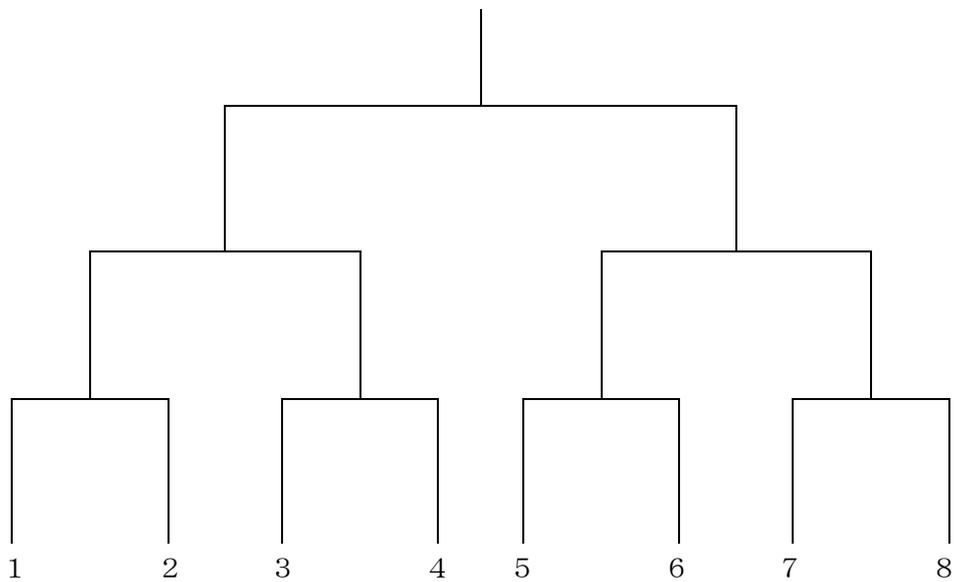
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各32組によるトーナメント方式。
- (3) 個人戦が重なった場合のみ、当該校の教員及び各県ごとに登録された外部指導者（コーチ）を監督として複数付けることができる。
- (4) その際には、監督追加届を提出すること。
- (5) 試合のゲームは7回ゲームとする。
- (6) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

(第1日目)	11:00～	開会式	(第2日目)	9:00～	開始式
	11:30～	団体戦		9:30～	個人戦

※ 第5代表決定戦は、準々決勝で敗れた4組で抽選を行い、トーナメント方式で決定する。

- (7) 組合せ

[男子]



[女子]

